早急に検討する

問 岡田 良成

らいあるか。 有の遊休地がどれ

に2件、 に2件、仁淀の教員住池川第4区に1件、川

譲渡しては。

答 副 町長

宅 別府小プー 跡

問

岡

 \mathbf{H}

防ぐため、2年以内に住著者の町外への流出を 宅を建築し定住する条件 で、遊休地を坪1万円で

答

い。一定期間内の建築ににも影響があるので、慎周囲の土地の財産価格

副町

検討ではなく、

早急に募

集すべき。

ため、譲渡すべきである。

長

答

副町長

したいと考えている。 早急に取り組み、

早急に検討する。補助金の制度なども含め、 問

岡

田

つながり、過疎化を防ぐあれば、地域の活性化に将来利用しない土地で

ソニア

公的資金

別府小プール跡地

町民に負担をかけない

り組みは不可能と言ってがなければ再生計画の取入や越知・佐川町の同調町長は、一般財源の投 過去のソニアの実績から ら運転資金 岡田の3議員が反対した。 みて、西森(久)、山口、 1億円の要請があった。 議会時に、 (借入金)約

問

岡

 \mathbf{H}

の無償 いたが、大原儀郎氏から国、県とも協議を進めて ので3町の調整はしてい まだ計画書が出ていない 貸したいとの話があった。 ソニア存続のために力を |的資金を入れるのは難| 譲渡の話があり、 時は森林組合へ

ソニアに公的資金を入

容の説明を。

町

長

協議会後の動き、 をすべきと言ってきたが、 れるべきではない。 検討内

問

岡 \coprod 来ていない。

と考える。

ため本町単独では難し

大原氏から約単独では難しい

佐川町に工場がある。要な施設ではある

1億円の運転資金(借入

金)が必要という話があ

たが、具体的にはまだ

むのか。 べきで、町民に負担をか政治生命をかけ取り組む でないと思うが。 けるような事業をすべき 生命をかけるが、 るが、 この問題に、 町民に負担をか 町単 独で取り 私 町長も らも政

組

問

藤野格昭

内自

治

体

0)

答

町 長

事業仕分けは

えており、

町民に負担を

確保に活かせないかと考林業振興、雇用の場の

かけない方向で取り組ん

でいる。

議会でも議論を。

答

うか。

準じた取り組みを

おり、

答

町 長 あるか。またどう行うか。 とのこと。導入の予定は の手段として効果がある

本町では事業の評価

市町村長の6割は不

わない。 密着しており実態にそぐ 廃止、縮小、 としては効果があるが、 どの結論を導き出す手段 本町は住民生活と予算が 短時間のうちに 民間委託な 事業の

業仕分けに準じた取り組費用対効果も考え、事 みをしていく。

住民を交え公の場で行

問

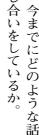
藤

野

町 長

答

には住民の代表も入って 行政改革推進委員の中 その中で意見を聞



藤 野

問

中心になっている。モデ 情報交換、 意見交換が

町

設など検討を進める。 みの検証や、補助金の創 ル地区を作り集荷の仕組

答 長



地域おこし協力隊

赤間 ゆりこ 石川伊佐男

松岡 悟

モデル地区を



は

答 検討会を立ち上げ

には、中学の再編が欠か今後のまちづくり計画 せないが。

小中学校の

の再編は、

子

の提案は検討したか。

教育長

答

と協議を進めてきた。 題を載せ、PTA関係者広報に4回、現状と課 げ議論を深めていく。 検討会を立ち上

問 西 森 (常

事が終わって廃校では絵揺まれているが、耐震工吾中の地震防災対策費が にならないが。 今回作った過疎計画に

県下一にできると思うが。

仁淀中

吾川中

問 西森常晴

答

副町長

二子野以東は池中の、 崎ノ山以西は仁中・ 私 どもたちの受ける環境が

第一だ。今、場所につい どうあるべきかの議論が

て論ずべきではない。

問 西 森

る。 野生チンパンジーの研究50年間、タンザニアで ドールさんは「人間は遠 をしているジェーン・グ っているが、 い将来を考える能力を持 ーには無い。」と言ってい チンパンジ

次に、教育長がその気 いで下さい。 チンパンジー にならな

答

教育長

学力には 「見える学力



況調査に表れるのが見え つがあると思う。学習状 る学力。 本来、求められる学力

「見えない学力」の「

伐

時代に身につけさせたい。 力、推察力とか、生きて ると思う。思考力、 は「見えない学力」にあ いくために必要な人間力 見えない学力」を小中学 判断

間

10倍は 桁上げ

問 林業と

西

森

(常

福祉だ。雇用の創出は、 算を一桁上げ、思い切っ た間伐をしたらどうか。 計画している、 強間伐をし、眠ってい 林業予

ドの高い観光地になるが 全国に先駆けた、グレー た植物が生まれ変われば、

答 副町 長

伐は増えてきている。 れていきたい。 10倍は難しいが力を入 大石町長に替わり、 間

西 森 常

問

いる。 西粟倉村は、2人の職員人口二千人弱の岡山県

答

ていきたい。 状況を見ながら検討





森の工場(潰溜地区)

か。 当町にその考えはない

副町長



若者定住住宅は

答

般財源で対応

も必要で、国、県への要も必要で、国、県への要地震を考えると町民の中地震を考えると町民の中 望も必要と考えるが。

古い2戸しか空いておらは4団地32戸あり、少し池川、吾川の町立住宅 分受け入れられていない。 地域住民の要望を十

体の問題ととらえ、一般署が検討しており、町全払い下げも含め、担当部最優先課題で、町有地の 財源で対応していきたい。 町にとって若者定住は

本

問

農

る。この利用を考えている。

備も検討していく。 設には、シャワー には、シャワー室の整また長期利用できる施 答

町 長

などになり中長期は、検の体育館や多目的集会所で短期間的には、各学校会所や自主防の指定施設 ことになっている。 応急仮設住宅を建設する 害対策基本法に基づき、 者への住宅の提供は、 討していない。 者への住宅の提供は、災急対策活動計画で、被災県が2月に南海地震応 急対策活動計画で、

も町立住宅を建設する考 地域振興基金を使ってで

えはないか。

的な避難場 所は集

から何人も退去している。る住宅がなく、町営住宅

若者が安心して定住でき

家賃で、

所得制限のない、

一淀地

地域には、

安価

問

農本規仁

総務課

援を国などに要望してい復旧、復興に必要な支 くことになる。

農 本

検討は。

備、

答

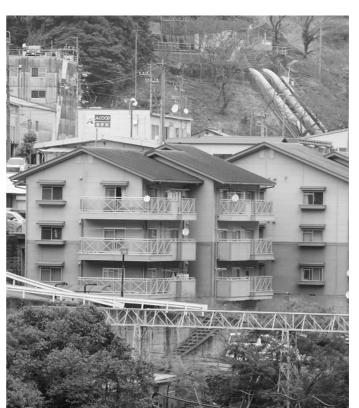
総務課長

長期的な避難場

例所の整

五日 選組 五日 元 日 元 元日 i THE S 五日 災害救助用アルファ化米 五目ご飯 S-50

災害備蓄用品



若者定住住宅(大崎)